

本書の使い方 1 チェック問題を解く

スタート：第1部（基本）・第2部（発展）から選ぶ

☆「オススメ」は、第1部の最初からのスタートです。

1-1 問題を選ぶ

「第1部」からはじめるか、「第2部」からか決める

……本書は全2部です。基本は第1部からですが、算数・計算に自信がある人は第2部からでもかまいません。

1-2 ①
制限時間

問題3 分数の計算

制限時間：23分（15分）

3-1 たし算・ひき算

□ 次の計算をなさい。（とちゅう式はすべて消さずに残しておくこと）

(1) $2\frac{4}{13} + 4\frac{9}{13}$ (2) $2\frac{7}{9} - 1\frac{1}{3}$

計算過程を
すべて残す

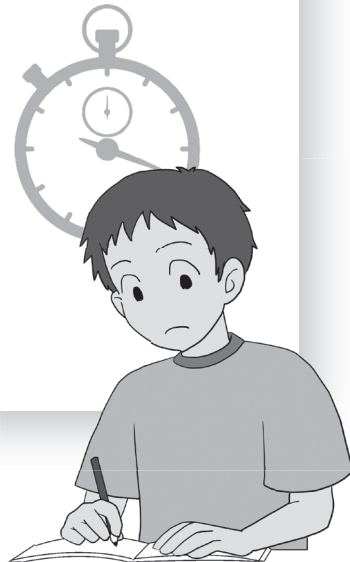
$= 6\frac{13}{13}$ $= 2\frac{7}{9} - 1\frac{3}{9}$

~~$= 8$~~ $= 1\frac{4}{9}$

$= 7$ $= 1\frac{4}{9}$

消さずに
二重線で直す

見本版



1-2 チェック問題を解く

① 制限時間を確かめ、時計やタイマーを用意する

……制限時間は2つあります。決めたら○をつけます。計算問題が得意な人は、（ ）内の短いほうにしましょう。

② 計算の過程を「すべて書いて残す」

……見直しに必要です。書いてないと何を直すかがわかりません。

③ 書きまちがえても消さずに「＝」二重線で直す

……ミスを残すことが大切です。とても役に立つ情報になります。

④ 解き方がわからなければ「パス」

……わからないものはしかたありません。質問して解決しましょう。

本書の使い方 2 答え合わせ・チェック

答え合わせのポイント：「どこでミスしたか」を明らかにする

☆別冊の「過程・解答」をつかって、答え合わせをします。「合っているかどうか」より過程が大切です。

2-1 見比べて答え合わせ

① 計算過程を1行ずつ確かめる

……別冊「過程・解答」には、計算過程が書いてあります。1行ずつチェックします。正解かどうかより、計算過程が正しいか注意してください。

② 正しいかどうかわからなければマークを

……「だいたい合っているが、ほんとうにいいの？」などの疑問がある場合は「？」マークをつけるなどして後で質問できるようにします。

2-1
1行ずつ
たしかめ

あつ……！

見本版

2-2
ミスに
マークし
メモを
残す

引き算
ミス

■自分の計算過程

(5) $\frac{6}{5} - \frac{3}{7} + \frac{1}{3}$
 $= \frac{42}{35} - \frac{15}{35} + \frac{1}{3}$
 $= \frac{27}{35} + \frac{1}{3}$
 $= \frac{81}{105} + \frac{35}{105}$
 $= \frac{116}{105} \left(1\frac{11}{105}\right)$

(6) $\frac{7}{2} + \frac{1}{4} - \frac{7}{8}$
 $= \frac{28}{8} + \frac{2}{8} - \frac{7}{8}$
 $= \frac{30}{8} - \frac{7}{8}$
 $= \frac{23}{8} \left(2\frac{7}{8}\right)$

(5) $\frac{6}{5} - \frac{3}{7} + \frac{1}{3}$
 $= \frac{42}{35} - \frac{15}{35} + \frac{1}{3}$
 $= \frac{27}{35} + \frac{1}{3}$
 $= \frac{81}{105} + \frac{35}{105}$
 $= \frac{116}{105}$

(6) $\frac{7}{2} + \frac{1}{4} - \frac{7}{8}$
 $= \frac{28}{8} + \frac{2}{8} - \frac{7}{8}$
 $= \frac{20}{8} - \frac{7}{8}$
 $= \frac{13}{8}$
 $= \frac{23}{8}$

2-2 ミスの場所をチェック

① ミスの場所にマーク

……すぐわかるようマークします。目立つ◎などがよいでしょう。

② ミスの内容をかんたんにメモする

……「写しまちがい」「通分を忘れた」のようなメモを残します。

……しつこいようですが、大切なのは「答え」ではありません。「ミスの場所と中身」です。間違っていたとして、赤で正解を書いても次からミスがなくなるわけではありません。「どこをどう直せばいいのか」を考えることが一番です。

本書の使い方 3 分類シート記入

「自分のミスを知る」ことで問題点を直します

☆本書の学習でいちばん大切な部分です。別冊のはじめにある「分類シート」をつかって、ミスの正体をつかみます。「自分のミスを知る」から直せます。

3-1 シートの「ミスの分類」を見て決める

- ① 分類シートの《分野▶ミスの分類》で、おこったミスを決めます
 ……分野は「整数」「小数」「分数」にわかれています。なお、「写しまちがい」は、「計算すべて」です。分野を決めたら、ミスの中身を見直して「ミスの分類」のどれになるか決めます。

※ 最初のチェック問題では「赤字ガイド」を活用

……なれないうちは分類がむずかしいことでしょう。第1部の「チェック問題」には赤字のガイドがあります。これを見ながら分類になれてください。

3-2 「カウント」にマークし、情報を加える

- ① カウントに○を書きます。○が多いところが「要注意」
 ……はじめてのミスは1に、次は2に○をつけます。ミスが多いと棒グラフのように右に伸びます。ここが要注意ポイントです。

- ② 「場面・原因」にも○を書き、より正確につかみます

……これでさらにくわしく弱点がつかめます。

よくある ……最も注意すべきミスパターンです

あせった時……時間が足りないとミスします。時間を短くして練習です。

めずらしい……「たまたま」かもしれませんが、上の2つの次に重要です。

分野	単元	ミスの分類	ミスの内容の例	場面・原因など	カウント	第1部の練習問題→	第2部の練習問題→
全体	計算すべて	文字・数字の転記ミス	自分の字を書き写しまちがえる	よくある・あせった時・めずらしい	1 2 3 4 5 6 7 8	A:21ページ～ B:32ページ～	A:44ページ～ B:51ページ～
	たし算ひき算	くり上がり・くり下がりのミス	くり上がり計算・くり下がり計算のときにミス	よくある・あせった時・めずらしい	1 2 3 4 5 6 7 8	A:21, 23ページ B:32ページ	A:44ページ B:51ページ
	かけ算	九九ミス	かけ算九九の計算ミス	よくある・あせった時・めずらしい	①②③ 4 5 6 7 8	A:21ページ B:32ページ	A:44ページ B:51ページ
	おは算わり算	おは算わり算のミス	おは算わり算の計算ミス	よくある・あせった時・めずらしい	1 2 3 4 5 6 7 8	A:21～23ページ	A:44～46ページ B:51～53ページ

3-1

3-2



本書の使い方 4 練習問題＋くりかえし

ミスに注意しながら練習します

分類シートの内容を忘れずに「注意すべき場所」に気持ちを向けて練習です。

4-1 シートの「練習問題」に進む～くりかえし

① チェック問題でおこった「ミス」に応じて練習問題を選ぶ

……「分類シート」の右に、練習問題 A・B のページが書かれています。その場所に進んでください。なお、ここには細かく書いてありますが、もう少し大きく「問題 1」「問題 2」などをまとめて解いてもかまいません。

② 解き終わったら、答え合わせ⇒分類シートに記入⇒くりかえし

……これまでの過程をくりかえします。同じ場所でミスが出るようなら、練習問題 B に進みます。

■他の問題で起きたミスも分類シートに書き込むことをおすすめします。

学校のテスト、家庭学習などでの「ミス」をどんどん記録してデータを増やします。もっとよく「自分のミス」を知ることができます。


この本の学習でもっとも大切な点は「自分を知り・注意する」ことです。「ミスが多いから気をつけよう」という人は多いのですが、どこでどう注意したらいいのか、はっきりわかっている人はあまりいません。

本書の学習の目標は「おっと、約分でミスをしやすいぞ」「そうだ、計算の順番に気をつけて」といったように、ミスしやすい（あぶない）場面で注意できるようにすることです。自分を知って、注意すべき点を知るだけでもミスは減るものです。

たとえば、スポーツ選手がレベルアップしようという時、「どんな場面でどんなミスをするか」を知ることが、ふつうに行われます。工場では、不良品が発生しやすい箇所や、作業のミスが起こりやすい場所をはっきりさせて、その係の人に「注意しなさい」と伝えます。今回は計算ですが、他の教科でも「自分はこのような場面でこのようなミスをする」と知っておけば、注意して行動できます。他の教科にもこの本と同じような方法で、自分のミスを確認して「注意するリスト」を作ることをおすすめします。

そのリストを机の前に貼ったり、持ち歩いて問題を解く時に見直しましょう。すると、必要なところで注意できるようになります。ミスは自然に減ります。

あらゆる問題の解決に役に立つ方法です。ぜひ、身につけてください。

- 
- けたをチェック
 - 約分を忘れるな
 - 通分に注意せよ

プラス1 計算の「ミスの多い場所」を知る

この本の目的は「あなた自身のミスのパターンを知る」ことです。

スポーツの練習でも工場でも「ここで問題が起こる」と予想することで注意深くなり、ミスは減ります。だから「あなた自身のミスのパターン」が重要なのです。

とはいえ、ある程度決まった「ミスの人気(?)パターン」はあります。道路でいうならば、見通しの悪い交差点やカーブが「事故が多く起きる場所」になっているようなものです。代表的なものを4つあげましょう。

「分類シート」に書き込んでみても、どこで多いのかははっきりしないという人は、下の4ポイントについて、特に気をつけてチェックすることをすすめます。

- ① **けた** (くり上がり・くり下がり・小数点など)
- ② **分数** (約分や通分)
- ③ **転記** (写し間違い)
- ④ **暗算** (暗算したところで計算ミス)

……「分類シート」には「暗算」はありません。さまざまなパターンがあるからです。しかし、暗算にたよるとミスが多くなるのは事実です。このミスが多い人は、「暗算をしない」のが唯一の対策です。めんどくがらずに「書いて計算」する習慣をつけましょう。

プラス2 「ミスの多い場所」を書いていつでも見直す

「あなた自身のミスのパターンを知る」ことができたら、いつも注意して、チェックすることです。

忘れないようにするのはかんたんです。

ミスの多いところをリスト(箇条書き)にして、机の目の前にはったり、いつも持ち歩いたりしてチェックすることです。

鉄道の運行に関わる人々を見ているとよくわかります。指さしたり声に出して何か言っています。あれは「確認」です。

「ミスの起きやすいポイント」「絶対ミスしてはいけないポイント」が手順書(マニュアル)に書かれています。そこを指さし、声出ししてチェックしているのです。誰がやってもミスが起りにくくなるように工夫されています。

この本でみなさんに伝えたのも、全く同じ方法なのです。



- けたをチェック
- 約分を忘れるな
- 通分に注意せよ

第1部 基本レベル

対象 ほとんどの人（計算が得意とは言えない人）

※注意 算数全体に自信があり、計算ミスもそれほどしないという人は、「第2部 発展レベル」から始めてください。

内容 分野別に分けた問題でミスを発見し、チェック

※注意 制限時間を守り、残り時間をよく見ながら進めてください。解き方がまったくわからない問題があったら、パスして先に進んでかまいません。

見本版

制限時間はふつうは長いほうに、算数が得意な人は（ ）内の短いほうに○をつけましょう。

問題1 整数の計算

制限時間：15分（12分）

1-1 たし算・ひき算・かけ算

□ 次の計算をなさい。（とちゅう式はすべて消さずに残しておくこと）

(1) $34499 + 24503$

(2) 35×68

(3) 345×78

(4) $412 - 203$

(5) 132×45

(6) $345784 + 2575$

(7) $30626 - 12529$

(8) 146×38

(9) 516×306

(10) 1057×739

見本版

1-2 わり算

□ 商は整数で答え、あまりがあればあまりも出さない。(とちゅう式はすべて消さずに残しておくこと)

(1) $243 \div 27$

(2) $60 \div 8$

(3) $48 \div 5$

(4) $5934 \div 23$

(5) $4554 \div 21$

(6) $1188 \div 66$

(7) $902 \div 17$

(8) $182 \div 52$

見本版

1-3 ミックス

□ 次の計算をなさい。(とちゅう式はすべて消さずに残しておくこと)

(1) $8 \times 7 \div 4$

(2) $16 \div 8 \times 9$

(3) $300 \div 2 \div 15$

(4) $56 \div 4 \times 23$

(5) $49 \div 7 + 1$

(6) $12 - 49 \div 7$

(7) $4 + 4 \times 6$

(8) $(40 - 12) \div 7$

(9) $5 \times (23 - 19)$

(10) $95 \div (43 - 24)$

見本版

制限時間はふつうは長いほうに、算数が得意な人は（ ）内の短いほうに○をつけましょう。

問題2 小数の計算

制限時間：18分（15分）

2-1 たし算・ひき算・かけ算

□ 次の計算をなさい。（とちゅう式はすべて消さずに残しておくこと）

(1) 4.2×4

(2) $8.4 + 0.96$

(3) $1.06 - 1.052$

(4) $2.06 - 1.953$

(5) $0.1 - 0.092$

(6) $19.44 + 8.91$

(7) $16.01 - 7.6$

(8) 1.3×1.2

(9) 0.55×2.8

(10) $4.072 + 10.94$

見本版

2-2 わり算

□ 次の計算をわりきれぬまでしなさい。(とちゅう式はすべて消さずに残しておくこと)

(1) $9.5 \div 5$

(2) $105.8 \div 11.5$

(3) $15.3 \div 0.9$

(4) $1.92 \div 1.6$

□ 商は小数第1位まで求め、あまりも出しなさい。(とちゅう式はすべて消さずに残しておくこと)

(1) $19.5 \div 7$

(2) $93.1 \div 5.2$

□ 商は四捨五入して、上から2けたの数で答えなさい。(とちゅう式はすべて消さずに残しておくこと)

(1) $2.6 \div 7$

(2) $45.3 \div 6.1$

見本版

2-3 ミックス

□ 次の計算をなさい。(とちゅう式はすべて消さずに残しておくこと)

(1) $2.4 \times 1.3 + 6$

(2) $2.5 \times 1.5 \div 0.2$

(3) $33 \div 1.1 \times 0.9$

(4) $3 \div 0.2 \div 1.5$

(5) $4.8 \div 0.6 + 0.75$

(6) $0.63 - 0.49 \div 7$

(7) $3.8 + 1.2 \times 0.3$

(8) $(4 - 1.2) \div 7$

(9) $4.2 \div (0.3 - 0.1)$

(10) $1.21 \div (2.3 - 1.2)$

見本版

計算ミス 分類シート

問題を解き終わったら採点し、ここにミスを分類して「カウント」欄に○を書きます。

この冊子の問題以外(問題集や学校のテストなど)のミスもどンドン記入して、自分の「ミスしやすいポイント」を明らかにしましょう。ミスの多い単元は、右の「練習問題A・B」でしっかり練習しましょう。

分野	単元	ミスの分類	ミスの内容の例	
全体	計算すべて	文字・数字の転記ミス	自分の字を書き写しまちがえる	
1	整数	たし算ひき算	くり上がり・くり下がり のミス	くり上がり計算・くり下がり計算のときにミス
		かけ算	九九ミス	かけ算九九の計算ミス
		かけ算わり算	けた数増加によるミス	けた数の増加を正しく行っていない
		わり算	筆算のしかたミス	商に「0」を立てるべきところを書いていない
		全部	計算の順番ミス	計算の順番を気にせず前から計算する・わり算からやるべきところでかけ算をする
		全部	工夫のしかたミス	分配法則の使い方をまちがえる
2	小数	たし算ひき算	位そろえミス	小数点をそろえて計算していない
		かけ算	小数点の書きまちがい	答えにつける小数点の位置をまちがえる
		わり算	小数点のまちがい	小数点をずらし忘れる・商につける小数点の位置をまちがえる
		わり算	あまり計算ミス	「あまり」につける小数点の位置をまちがえる
		わり算	四捨五入ミス	四捨五入すべきところをまちがえる・四捨五入のしかたをまちがえる
3	分数	たし算ひき算	分母・分子のミス	分母と分子をそのままたしてしまう・ひいてしまう
		たし算ひき算	通分ミス	そろえる分母の計算ミス・かけ算ミス
		たし算ひき算	約分ミス	約分すべきところでしていない・約分できないところとする
		かけ算わり算	仮分数にせず計算	帯分数のまま計算する
		かけ算わり算	約分ミス	約分すべきところでしていない・約分できないところとする
		かけ算わり算	かける方向のミス	整数を分数の分母とかけてしまう
		かけ算わり算	逆数にするときのミス	逆数のし忘れ、逆数にする分数をまちがえる
		計算すべて	変換ミス	小数を分数に直しまちがえる・分数を小数に直しまちがえる

場面・原因など	カウント	第1部の練習問題⇒	第2部の練習問題⇒
よくある・あせった時・めずらしい	1 2 3 4 5 6 7 8	A:21ページ～ B:32ページ～	A:44ページ～ B:51ページ～
よくある・あせった時・めずらしい	1 2 3 4 5 6 7 8	A:21, 23ページ B:32ページ	A:44ページ B:51ページ
よくある・あせった時・めずらしい	1 2 3 4 5 6 7 8	A:21ページ B:32ページ	A:44ページ B:51ページ
よくある・あせった時・めずらしい	1 2 3 4 5 6 7 8	A:21～23ページ B:32, 33ページ	A:44, 45ページ B:51ページ
よくある・あせった時・めずらしい	1 2 3 4 5 6 7 8	A:22, 23ページ B:32, 33ページ	A:44, 45ページ B:51ページ
よくある・あせった時・めずらしい	1 2 3 4 5 6 7 8	A:23ページ B:33ページ	A:45ページ B:52ページ
よくある・あせった時・めずらしい	1 2 3 4 5 6 7 8	A:23ページ B:33ページ	A:45ページ B:52ページ
よくある・あせった時・めずらしい	1 2 3 4 5 6 7 8	A:24, 26ページ B:34ページ	A:46, 47ページ B:53ページ
よくある・あせった時・めずらしい	1 2 3 4 5 6 7 8	A:24, 26ページ B:34, 35ページ	A:46, 47ページ B:53, 54ページ
よくある・あせった時・めずらしい	1 2 3 4 5 6 7 8	A:25, 26ページ B:34, 35ページ	A:46, 47ページ B:53, 54ページ
よくある・あせった時・めずらしい	1 2 3 4 5 6 7 8	A:25, 26ページ B:34, 35ページ	A:46, 47ページ B:53, 54ページ
よくある・あせった時・めずらしい	1 2 3 4 5 6 7 8	A:25, 26ページ B:34, 35ページ	A:46, 47ページ B:53, 54ページ
よくある・あせった時・めずらしい	1 2 3 4 5 6 7 8	A:27, 29, 30ページ B:36～38ページ	A:48, 49ページ B:55～57ページ
よくある・あせった時・めずらしい	1 2 3 4 5 6 7 8	A:27, 29, 30ページ B:36～38ページ	A:48, 49ページ B:55～57ページ
よくある・あせった時・めずらしい	1 2 3 4 5 6 7 8	A:27, 29, 30ページ B:36～38ページ	A:48, 49ページ B:55～57ページ
よくある・あせった時・めずらしい	1 2 3 4 5 6 7 8	A:28～30ページ B:36～38ページ	A:48～50ページ B:55～57ページ
よくある・あせった時・めずらしい	1 2 3 4 5 6 7 8	A:28～30ページ B:36～38ページ	A:48～50ページ B:55～57ページ
よくある・あせった時・めずらしい	1 2 3 4 5 6 7 8	A:28～30ページ B:36～38ページ	A:48～50ページ B:55～57ページ
よくある・あせった時・めずらしい	1 2 3 4 5 6 7 8	A:28, 30ページ B:36～38ページ	A:48～50ページ B:55～57ページ
よくある・あせった時・めずらしい	1 2 3 4 5 6 7 8	A:30, 31ページ B:37, 38ページ	A:49, 50ページ B:55～57ページ

10 ページの問題

第1部のチェック問題には、「その場所のミスはどう分類すればよいか」について、赤字でミス分類のガイドを加えてあります。参考にしてください。

問題1 整数の計算

制限時間：15分(12分)

1-1 たし算・ひき算・かけ算

□ 次の計算をしなさい。(とちゅう式はすべて消さずに残しておくこと)

(1) $34499 + 24503$

$= 59002$

$$\begin{array}{r} 34499 \\ + 24503 \\ \hline 59002 \end{array}$$

↑ 「くり上がり・くり下がりミス」

(2) 35×68

$= 2380$

$$\begin{array}{r} 35 \\ \times 68 \\ \hline 280 \\ 210 \\ \hline 2380 \end{array}$$

← 「九九ミス」

(3) 345×78

$= 26910$

$$\begin{array}{r} 345 \\ \times 78 \\ \hline 2760 \\ 2475 \\ \hline 26910 \end{array}$$

← 「九九ミス」

(4) $412 - 203$

$= 209$

$$\begin{array}{r} 412 \\ - 203 \\ \hline 209 \end{array}$$

↑ 「くり上がり・くり下がりミス」

(5) 132×45

$= 5940$

$$\begin{array}{r} 132 \\ \times 45 \\ \hline 660 \\ 528 \\ \hline 5940 \end{array}$$

← 「九九ミス」

(6) $345784 + 2575$

$= 348359$

$$\begin{array}{r} 345784 \\ + 2575 \\ \hline 348359 \end{array}$$

↑ 「けた数増加によるミス」

(7) $30626 - 12529$

$= 18097$

$$\begin{array}{r} 30626 \\ - 12529 \\ \hline 18097 \end{array}$$

↑ 「くり上がり・くり下がりミス」

(8) 146×38

$= 5548$

$$\begin{array}{r} 146 \\ \times 38 \\ \hline 1188 \\ 438 \\ \hline 5548 \end{array}$$

← 「九九ミス」

(9) 516×306

$= 157896$

$$\begin{array}{r} 516 \\ \times 306 \\ \hline 3096 \\ 1548 \\ \hline 157896 \end{array}$$

← 「九九ミス」

(10) 1057×739

$= 781123$

$$\begin{array}{r} 1057 \\ \times 739 \\ \hline 29513 \\ 3171 \\ 7399 \\ \hline 781123 \end{array}$$

↑ 「けた数増加によるミス」

見本版

11 ページの問題

1-2 わり算

□ 商は整数で答え、あまりがあればあまりも出しなさい。(とちゅう式はすべて消さずに残しておくこと)

(1) $243 \div 27$
 $= 9$

$$\begin{array}{r} 9 \\ 27 \overline{) 243} \\ \underline{243} \\ 0 \end{array}$$

「筆算のしかたミス」

(2) $60 \div 8$
 $= 7 \dots 4$

「九九ミス」

$$\begin{array}{r} 7 \\ 8 \overline{) 60} \\ \underline{56} \\ 4 \end{array}$$

(3) $48 \div 5$
 $= 9 \dots 3$

「九九ミス」

(4) $5934 \div 23$
 $= 258$

$$\begin{array}{r} 258 \\ 23 \overline{) 5934} \\ \underline{46} \\ 133 \\ \underline{115} \\ 184 \\ \underline{184} \\ 0 \end{array}$$

「筆算のしかたミス」

(5) $4554 \div 21$
 $= 216 \dots 18$

$$\begin{array}{r} 216 \\ 21 \overline{) 4554} \\ \underline{42} \\ 35 \\ \underline{31} \\ 144 \\ \underline{126} \\ 18 \end{array}$$

「筆算のしかたミス」

(6) $1188 \div 66$
 $= 18$

$$\begin{array}{r} 18 \\ 66 \overline{) 1188} \\ \underline{66} \\ 528 \\ \underline{528} \\ 0 \end{array}$$

「筆算のしかたミス」

(7) $902 \div 17$
 $= 53 \dots 1$

$$\begin{array}{r} 53 \\ 17 \overline{) 902} \\ \underline{85} \\ 52 \\ \underline{51} \\ 1 \end{array}$$

「筆算のしかたミス」

(8) $182 \div 52$
 $= 3 \dots 26$

$$\begin{array}{r} 3 \\ 52 \overline{) 182} \\ \underline{156} \\ 26 \end{array}$$

「筆算のしかたミス」

見本版

12ページの問題

1-3 ミックス

□ 次の計算をなさい。(とちゅう式はすべて消さずに残しておくこと)

(1) $8 \times 7 \div 4$

$= 56 \div 4$
 $= 14$
 ←ここでのミスは「九九ミス」

(2) $16 \div 8 \times 9$

$= 2 \times 9$
 $= 18$
 ←かけ算から計算したら「計算の順番ミス」

(3) $300 \div 2 \div 15$

$= 150 \div 15$
 $= 10$

(4) $56 \div 4 \times 23$

$= 14 \times 23$
 $= 322$

←かけ算から計算したら「計算の順番ミス」

$$\begin{array}{r} 14 \\ \times 23 \\ \hline 42 \\ 28 \\ \hline 322 \end{array}$$

←「九九ミス」

(5) $49 \div 7 + 1$

$= 7 + 1$
 $= 8$
 ←「九九ミス」

(6) $12 - 49 \div 7$

$= 12 - 7$
 $= 5$
 ←ひき算からはじめたら「計算の順番ミス」

見本版

(7) $4 + 4 \times 6$

$= 4 + 24$
 $= 28$
 ←たし算からはじめたら「計算の順番ミス」

(8) $(40 - 12) \div 7$

$= 28 \div 7$
 $= 4$
 ←「計算の順番ミス」
 ←「九九ミス」

(9) $5 \times (23 - 19)$

$= 5 \times 4$
 $= 20$
 ←「九九ミス」

(10) $95 \div (43 - 24)$

$= 95 \div 19$
 $= 5$

$$\begin{array}{r} 5 \\ 19 \overline{) 95} \\ \underline{95} \\ 0 \end{array}$$

←「筆算のしかたミス」

13 ページの問題

問題2 小数の計算

制限時間：18分 (15分)

2-1 たし算・ひき算・かけ算

□ 次の計算をしなさい。(とちゅう式はすべて消さずに残しておくこと)

(1) 4.2×4
 $= 16.8$

$$\begin{array}{r} 4.2 \\ \times 4 \\ \hline 16.8 \end{array}$$

「小数点の書きまちがい」

(2) $8.4 + 0.96$
 $= 9.36$

$$\begin{array}{r} 8.4 \\ + 0.96 \\ \hline 9.36 \end{array}$$

「位そろえミス」

(3) $1.06 - 1.052$
 $= 0.008$

$$\begin{array}{r} 1.060 \\ - 1.052 \\ \hline 0.008 \end{array}$$

「位そろえミス」

(4) $2.06 - 1.953$
 $= 0.107$

$$\begin{array}{r} 2.060 \\ - 1.953 \\ \hline 0.107 \end{array}$$

「位そろえミス」

(5) $0.1 - 0.092$
 $= 0.008$

$$\begin{array}{r} 0.100 \\ - 0.092 \\ \hline 0.008 \end{array}$$

「位そろえミス」

(6) $19.44 + 8.91$
 $= 28.35$

$$\begin{array}{r} 19.44 \\ + 8.91 \\ \hline 28.35 \end{array}$$

「位そろえミス」

(7) $16.01 - 7.6$
 $= 8.41$

$$\begin{array}{r} 16.01 \\ - 7.6 \\ \hline 8.41 \end{array}$$

「位そろえミス」

(8) 1.3×1.2
 $= 1.56$

$$\begin{array}{r} 1.3 \\ \times 1.2 \\ \hline 26 \\ 13 \\ \hline 1.56 \end{array}$$

「小数点の書きまちがい」

(9) 0.55×2.8
 $= 1.54$

$$\begin{array}{r} 0.55 \\ \times 2.8 \\ \hline 440 \\ 110 \\ \hline 1.54 \end{array}$$

「小数点の書きまちがい」

(10) $4.072 + 10.94$
 $= 15.012$

$$\begin{array}{r} 4.072 \\ + 10.94 \\ \hline 15.012 \end{array}$$

「位そろえミス」

見本版

14ページの問題

2-2 わり算

□ 次の計算をわりきれるまでしなさい。(とちゅう式はすべて消さずに残しておくこと) 「小数点のまちがい」

(1) $9.5 \div 5$
 $= 1.9$

$$\begin{array}{r} 1.9 \\ 5 \overline{) 9.5} \\ \underline{5} \\ 45 \\ \underline{45} \\ 0 \end{array}$$

「小数点のまちがい」

(2) $105.8 \div 11.5$
 $= 9.2$

$$\begin{array}{r} 9.2 \\ 11.5 \overline{) 105.8} \\ \underline{103} \\ 280 \\ \underline{230} \\ 50 \end{array}$$

「小数点のまちがい」

(3) $15.3 \div 0.9$
 $= 17$

$$\begin{array}{r} 17 \\ 0.9 \overline{) 15.3} \\ \underline{9} \\ 63 \\ \underline{63} \\ 0 \end{array}$$

「小数点のまちがい」

(4) $1.92 \div 1.6$
 $= 1.2$

$$\begin{array}{r} 1.2 \\ 1.6 \overline{) 1.92} \\ \underline{16} \\ 32 \\ \underline{32} \\ 0 \end{array}$$

「小数点のまちがい」

見本版

□ 商は小数第1位まで求め、あまりも出しなさい。(とちゅう式はすべて消さずに残しておくこと)

(1) $19.5 \div 7$
 $= 2.7 \dots 0.6$

$$\begin{array}{r} 2.7 \\ 7 \overline{) 19.5} \\ \underline{14} \\ 55 \\ \underline{49} \\ 60 \\ \underline{49} \\ 11 \end{array}$$

「あまり計算ミス」

(2) $93.1 \div 5.2$
 $= 17.9 \dots 0.02$

$$\begin{array}{r} 17.9 \\ 5.2 \overline{) 93.1} \\ \underline{52} \\ 411 \\ \underline{364} \\ 470 \\ \underline{468} \\ 20 \end{array}$$

「あまり計算ミス」

□ 商は四捨五入して、上から2けたの数で答えなさい。(とちゅう式はすべて消さずに残しておくこと)

(1) $2.6 \div 7$
 $= 0.37 \times \dots$
 答え 0.37

$$\begin{array}{r} 0.37 \times \\ 7 \overline{) 2.6} \\ \underline{21} \\ 50 \\ \underline{49} \\ 10 \end{array}$$

「四捨五入ミス」

(2) $45.3 \div 6.1$
 $= 7.4 \times \dots$
 答え 7.4

$$\begin{array}{r} 7.4 \times \\ 6.1 \overline{) 45.3} \\ \underline{42} \\ 360 \\ \underline{244} \\ 116 \end{array}$$

「四捨五入ミス」